

物価高騰から区民のくらしを守り、明日に希望が持てる区政へ全力

第2回定例議会特集

日本共産党

大田区議団 ニュース

日本共産党大田区議団

大田区蒲田5-13-14
TEL 03-5744-1477
FAX 03-3730-3447
E-mail kugidan@jcp-ota.jp
ご意見、ご要望をお寄せ下さい。

補正予算で 第2子保育料無償化実現（10月から）

6月15日（木）から26日（月）まで大田区議会第2回定例議会が行われました。今回の議会には、保育園に通っている、0歳児から2歳児について、第2子の保育料を無償化するため、赤松小・（仮称）北千束二丁目複合施設の整備費が、資材高騰により契約金額を引き上げるための補正予算がそれぞれ提案され、区議団は賛成しました。

党区議団は、まだ無償となっていない認可保育園の0歳児・2歳児の第1子からの保育料を無償化するため、第1回定例議会に条例提案し、区民のみならずとも力を合わせてきました。今回は、第2子からの無償化ですが歓迎するものです。引き続き第1子からの保育料無償化が実現するようがんばります。



清水菊美区議

代表質問

物価高騰から暮らし、営業を守る区政へ

●核兵器禁止条約を無視し、核抑止論を公然と正当化した「広島宣言」について
大田区平和都市宣言の立場を貫く自治体の長として「広島宣言」に抗議し、「被爆国日本が核兵器禁止条約に署名し批准を求める署名」に署名することを求めました。

●物価高騰から区民の暮らしと営業を守るための対策について、次の3点について質問しました。
1、熱中症対策として電気代負担軽減策が必要ですが、

●「区負担分がゼロ」となっても、約800メートルに約900億円の税金を使うことになり、不便になる区民もいる新浜港線（蒲蒲線）計画について次の3点の質問をしました。
1、現時点では決まってい

●給食費無償化の継続を今年度実現した給食費無償化は、子育て世代の支援だけでなく、教職員の働き方改革としても重要なもの。今回アレルギー等の児童生徒に給食費相当分の補助をするが、その給食費事務を再び教職員に押し付けないよう求めましたが、各学校で対応するとの答えでした。
◆不足している教員を増やすことは喫緊の課題
大田区でも、4月から教員が不足しています。教育



村石まい子区議

児童生徒を大切に
する区政へ 一般質問

最低限としてエアコンの購入・設置の費用を助成することを求めました。
2、区内では閉店・廃業が目立っている。町工場・銭湯など都の給付金支給の対象にならない事業者に対して支援することを求めました。
3、非課税世帯、低所得世帯給付金は国・都の補助である。区独自で区民への物価高騰対策を求めました。

●SDGsモデル都市におけるジェンダー平等の施策について
パートナーシップ制度は23区内で12区が実施、他自治体の実施状況や情勢を見るならば大田区も制度の導入をせざるを得ない、一刻も早い実施を求めました。

委員会としても、教員の補充に責任を持って取り組んでほしいと求めました。
◆情緒特別支援学級にあと1人講師を
来年度から始まる情緒特別支援学級は、8人につき2人の教員と、週6時間の講師だけでは指導がいきわたらないので、せめてあと1人の講師配置を、と求めました。

年4月以降も継続して行うことを求める陳情は、憲法26条実現からも必要であり、採択を求めました。
★羽田新飛行ルートに関する陳情は騒音や落下物などから安全安心な区民の生活を守るため採択を求めました。

区政とくらしの相談はお気軽に

村石まい子 村石まい子 村石まい子 村石まい子 村石まい子
 こども文教委員 健康福祉委員 政調会長/まちづくり環委員 幹事長/地域産業委員 団長/総務財政委員
 交通政策調査特別委員 防災安全対策特別委員 羽田空港対策特別委員 交通政策調査特別委員 シェアエーション・グループ協議会
 TEL 3742-2936 TEL 3768-5844 TEL 3730-3480 TEL 3298-6362 TEL 090-3342-3001

党区議団が2件の条例提案で奮闘 自民、公明など反対で否決

党区議団は、区民の皆さんから出されている声にこたえて条例提案を行っていただきます。今定例会議に2件の条例提案をしました。他党派にも呼び掛けて説明会を開き、共同提案も呼びかけました。

A 費用弁償廃止条例案

大田区議会では、徒歩でも電車を使用しても1日3000円支払われる交通費相当の費用弁償(日額旅費)の廃止を求め、条例提案を繰り返し行ってきました。現在、23区内では費用弁償廃止は7区、実費支給は3

B 大田区高齢者補聴器購入費助成条例案

聴力の低下により日常生活を営むのに支障がある高齢者に対し、補聴器購入費を助成することにより、より良いコミュニケーションを確保するとともに外出や地域交流を支援し、閉じこもりを防止し、高齢者の福

区です。都議会では、廃止していません。反対の理由は、「時期尚早」「もっと話し合うべき」などでした。日本共産党、維新、立憲、フェア民が賛成しました。

党区議団は、費用弁償の廃止を求めるとともに、議員退職時に、大田区に寄付しています(議員在職時は寄附行為ができません)。今回、議員退職した大竹・黒沼元区議が8年分の費用弁償を、それぞれ149万7千円、142万8千円を大田区に寄付しました。



目録を川野副区長に渡す大竹元区議、黒沼元区議

	共産	自民	公明	維新	つばさ	フォーラム	立憲	フェア民	新れ
条例案	⑤	⑮	⑪	⑤	④	④	④	①	①
A	◎	×	×	○	×	×	○	○	×
B	◎	×	×	×	×	×	○	×	×

◎提案者 ○賛成 ×反対 (○数字は議員の人数)

- ① 「真剣さがない」「よく聞こうとするのが大事」でした。日本共産党、立憲が賛成しました。
- ② 低所得世帯向けの物価高騰に対する給付金事業は、非課税世帯に限らず、対象をさらに広げて実施すること。
- ③ 区独自で区内飲食店や商店、中小零細事業者向け物価高騰緊急対策支援金の支給を行うこと。
- ④ 6月から学校給食費の無償化が開始されたが、アレルギーや宗教等の理由により一部でも弁当を持参している児童生徒に対して無償化に準じた補助を行うこと。区内の小中学校に在籍し、都立の特別支援学校に通う児童生徒の給食費を無償の対象にし、名実ともに完全無償化にすること。
- ⑤ 10月から予定されている東京都が行う0〜2歳の第二子保育料無償化に合わせ、区独自に0〜2歳の第
- ⑥ 酷暑の熱中症対策としてエアコン購入費等助成、夏場の電気代助成を行うこと。特に、低所得者や高齢者、障害者の居る世帯に対して別枠で支援を行うこと。
- ⑦ 毎年値上げが続く国民健康保険料の負担軽減をはかること。子どもの均等割保険料は区で負担しゼロにすること。
- ⑧ 4月から施行された自転車ヘルメット着用の努力義務化を受け、区内事業者から安全基準を満たしたヘルメットを購入する際に、購入費助成を行うこと。
- ⑨ 消費税減税、インボイス制度の中止を国に求めること。

2024年度使用小学校教科用図書採択の傍聴をしましょう!

今年、来年度小学生が使用する教科書の採択が行われます。

7月21日(金) 午後2時から
調査委員会からの報告(採択資料の報告)

8月8日(火)、9日(水) 午後2時から
採択審議(採択予備日 10日)

場所は、大田区民ホール・アプリコ地下展示室
(160名、超過したら抽選)

受付時間は、午後1時~1時40分まで
(保育は2週間前まで予約、手話通訳と要約筆記は1週間前まで予約)



要望書を手渡す党区議団と川野・玉川両副区長

「物価高騰等への対策を求める緊急要望」の申し入れを行いました(6月15日)

法律相談のご案内

区議団顧問弁護士による、法律相談です。お気軽にご利用ください。

7月20日(木) 午後1時より
8月 3日(木) 午後1時より

場所 日本共産党大田区議団控室
(大田区役所10階) TEL5744-1477

予約制です。前日までにお電話ください。

